



二度上峠への道、はまゆう山荘手前を車で登って10分。わらび平森林公園キャンプ場に到着。ヒツジが1匹、草を食みながら迎えてくれた。高倉山への登山口はここである。

登り始めると、モミジや山栗、マユミ等雑木が目立つ。今回(11月11日)はまさに紅葉の中、自然の紅色を満喫した。T字路に突き当たるまで20分。いよいよ登りになるが、登山道は整っている。カサコソと落ち葉を踏みしめ、ゆるいつづら(つづらめ)折りを登っていく。さらに20分、木の階段が見えてきたら山頂は近い。あいにくこの日は曇りであったが、晴れた日には浅間隠山・榛名山・赤城山がよく見えるという。

山頂から浅間隠山へのルートは、今年の台風の影響で整備されていない。同じ道を下る訳だが、景色を楽しみ樹木や花を愛で、山の空気を十分味わいながらの楽しい30分である。

山頂までゆっくり歩いて写真を撮って40分、下りは30分。足ごなしにちょうど良い山であるが、惜しいことにこの山の魅力はあまり知られていない。まず登山口のわらび平キャンプ場は、こじんまりした静かなキャンプ場で清潔に管理され、何と言っても木立が美しい。バンガローが点在し、懐かしい気分になる。またまわりの山々も臨め景色が良いそうだ。管理事務所で聞くと、新緑の5月連休から紅葉まで、美しい木立が楽しめるそうである。さらに4月のカタクリからコブシ・ツツジ・シラネアオイ・あつもり草と花ごよみも充実している。さすが森林公園、その時期にはまた来てみたいものだ。そういえば登山道でリンドウを見かけた。

帰りは、はまゆう山荘の温泉に入って帰ろう。

(株)小泉農園・小泉 俊夫

Title

和風庭園の行き先

Memo

お庭の仕事に携わっている人間であれば、誰もが感じているかもしれないが、近年は個人邸では和風と呼ばれる家も少なければその家に合わせて和風テイストなお庭にする方も少なくなっている。

特に群馬県は車社会である為にそれぞれの家族が一人に一台車を所有し、場合によっては、お子さんも車に乗るようになるからとお庭のスペースはなくしても駐車スペースだけは確保しておきたいというお施主様は多い。

和風の眺めるお庭よりは、より実用的で生活スタイルにあったお庭を楽しむスペースとして考えるのが一般的になっていると思うのは私だけではないはずである。

和風のお庭が敬遠されがちな理由にお施主様とのお話の中でメンテナンスの費用が多く掛かっ



てしまうという印象だけで敬遠されてしまっているのも事実である。やり方によっては決してそんなこともないのだが、この印象は確実に頭の中に刷り込まれていて、覆すのは非常に難しい。

ただそこは日本人である。ホテルや飲食店や商業施設などに作庭されている和風の庭園を観れば、「やっぱり和風のお庭はいいね」と言葉が出てくるのが現実である。

将来的には和風の建物はもちろん、日本庭園など和風のお庭も普段の生活の中ということではなく、旅行やお食事に出掛けた時などの日常生活では味わえない特別な空間だけで味わう日本の文化になって行くのがも知れない。時代は常に変遷し移り変わって行くのだが、我々庭師も日本文化の端っこに関わっている者として日本の伝統文化を守りつつ柔軟に時代の流れに対応しなければならない。

(株)山田植物園・山田 進

■新任挨拶並びに委員会報告

◆組合理事長 澤口 浩美 (株カネサ園)

組合員各位におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、一昨年(2011)年の東日本大震災以降、我々を取り巻く環境はますます厳しさを増しておりますが、まずはこうして無事新しい年を迎えることができたことを感謝したいと思います。昨年の組合員の利益供与を図るための共同購買事業は、一昨年に比較して1.6倍と伸び、組合員各位におかれましては、大変御協力いただきましてありがとうございます。

今後は共同購買事業の内容充実を図り、少しでも組合員各位の利便を図りたいと思います。今の時代だからこそ、低価格でありながら安心、安全な商品を組合員各位に提供することが協同組合の使命だと思っております。

本年も各事業につきましても御協力の程宜しくお願いいたします。年頭にあたり、組合員各位のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆総務委員長 藤井 明人 (有藤井造園)

平素より、総務委員会の活動にご協力いただき皆様、大変ありがとうございます。この広報が発刊される頃は、新年賀詞交歓会が行われていることでしょう。

さて、昨年の活動としては、5月の総会、9月の関東四県公園緑地協議会、10月の関東甲信造園建設業協会協議会を行いました。なかでも、関東甲信造園建設業協会協議会は今年、平成25年に群馬県主催で行われるので責任も重大です。皆様、良い視察研修候補地などあったら御提案ください。

また昨年は研修会として、7月に法律(釘島先生)、9月に労務管理(板垣先生)、11月に経理(齋藤先生)を開催しました。他の造園団体からの参加も有り役に立つ話も多いので、今後も皆様のご参加をお願いします。今年も事務局と連携を取り合い、協会運営がスムーズに行われるよう努力していきたいと思っております。

◆技術委員長 山口 雄資 (群馬東申園株)

技術委員会では、現在必要としている資格やこれから必要になる技術を検討し活動する考えで事業を行っています。

昨年は、造園技能士1級、2級の取得試験の参考と一般的な造園技術の基礎講習を目的に造園技能講習会を行いました。

年々増えていく業務に必要な資格に対応し施工技術の多様化に対応していくことが必要です。

近年、群馬県外では行政発注の植栽管理に街路樹剪定士の資格が特記されることが多くなっておりまして。

当協会では高品質、安全な管理技術の取得は重要なことと捉え、街路樹剪定士の資格取得や更新講習を日造協と共催しています。

造園技術に付随する会員のスキルアップに貢献する事業を提供したいと思っております。

◆広報委員長 山田 篤志 (株山晃)

皆様こんにちは。昨年より広報委員会を預かることになりました委員長の山田です。

昨年の広報委員会の主だった事業といたしましては、「みどりの清掃」「安全衛生大会」「広報誌みどり」の3本柱で事業を進めさせて頂きました。まあその他にもあるのですがその辺はポチポチと…。各事業に関する記事は別段にあるのでこちらに譲りますが、山田の感じる所、最近の群馬県造園建設業協会は、どちらかというと万事控えめであり、「そこが良い」という意見もあるようですが、広報という立場で、もう少し主張をしていきたいと思っています。各事業を通して「盛り上げる」「アピールする」ことに主眼を置き、元気に活力を持ってやっていきたいと考えております。

会員及び関係各位様におかれましては、今後ともご指導とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

群馬県緑化センターでは、5月4日(金)に「みどりの日」を記念して、「みどりの集い」を開催しました。協会としても東毛支部が担当で参加しました。

苗木や花苗の配布会は、午前・午後2回行なわれたのははじめ、緑の相談室、寄せ植え教室、庭木の植え方教室、四つ目垣の縄結び体験、ネイチャークラフト、金魚すくい、など各種イベ



5/4
(金)
みどりの集い



ントに約1100人の方が訪れました。園内には、花木園・庭園見本園・耐湿樹見本園をはじめ、針葉樹見本園・広葉樹見本園・常緑樹見本園・等もあり、樹木園では、季節の森エリア・野鳥の森エリア・全国植樹記念のエリア等もあり、「みどりの集い」に訪れた来訪者達は、思い思いに園内を散策して楽しみました。

(株森緑造園土木・高橋 光弘)